

【参考資料②】

新たな学びの場 設置に向けての市町村アンケート結果

(1) 調査期間

令和5年12月18日(月)から令和6年1月15日(月)

(2) アンケート項目

※以下①～④の設問に関して、市町村教育委員会の考えを「設置に向けた検討をしたい」「設置することは難しい」の中から選択し回答

- ① 夜間中学について
- ② 学びの多様化学校について
- ③ 夜間中学校と学びの多様化学校の併設について
- ④ ①～③の役割を含め、多様なニーズを包括した柔軟な学校について
- ⑤ ①～④の回答の理由や意見の記述

(3) アンケート回収率

77市町村中70市町村(90.9%)

(4) アンケート結果

設 問	「設置に向けた検討をしたい」と回答した市町村数
① 夜間中学について	0
② 学びの多様化学校について	1
③ 夜間中学校と学びの多様化学校の併設について	3
④ ①～③の役割を含め、多様なニーズを包括した柔軟な学校について	8
⑤ ①～④の回答の理由や意見の記述(学びの多様化学校に係る部分を抜粋)	
・不登校などで形式卒業した学び直しのニーズは高いため、何らかの方法で対応できるよう、県と協働で進めていきたい。(②③④に回答)	
・既存小・中学校を再編した小中一貫校新設を検討中であり、推進委員会で、多様性に対する支援の必要性が話題に上がっているため、夜間中学校や学びの多様化学校の定義にこだわらず、幅広く検討を進めたい。	
・教育支援センター(市中間教室)を設けている公共施設の統合が検討されている段階であり、進捗により教育支援センターの今後のあり方を検討する予定がある。(④に回答)	
・構想段階ではあるが、現在ある市の中間教室を中核として、不登校支援センターとし、不登校の相談や、児童生徒の学習の場としての機能を充実させていきたい。(④に回答)	
・夜間中学単独では難しいが、学びの多様化学校との併設であれば考えられる。(②③に回答)	